

コード	20201
作成年度	26年度

基本事業評価表

基本事業名称	快適な住宅・住環境の整備
--------	--------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	ゆとりある住宅・住環境の整備

課コード	119	関係課名	財産管理課
主管課名	建築課		

基本事業の目的

土地利用計画や道路建設計画等関連施策との連携を図りながら、地域の特性を活かした魅力ある生活空間の確保に努める。また、高齢者や障害者等の活動を支え、すべての人々が安全で安心して暮らせるよう、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりの推進を目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	都市計画審議会開催	成果指標名称 2	
成果指標の積算根拠	開催回数÷開催計画数	成果指標の積算根拠	
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	
目標達成数値	2回/年	目標達成数値	

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	回	2	2	2	2	2
	実績 B		回	1	1	1	1	-
	達成率 B/A		%	50.0	50.0	50.0	50.0	
成果指標 2	目標 A	単位						
	実績 B						-	
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	都市計画審議会は、毎年定期的に開催し都市計画に関する町長の諮問に応じた調査、審議を行っている。現在、都市計画区域内では有川都市再生整備計画事業を、都市計画区域外では船崎地区街なみ環境整備事業を継続して進めている。
	課題	事業の推進にあたっては、住民のニーズ及び事業の費用対効果を損ねることなく、計画の見直し、事業費の縮減を図る必要がある。
	改善	平成25年度に有川都市再生整備計画事業の全体計画を見直して事業項目の絞込み及び事業費の縮減を図った。今後も重点箇所への集中投資、徹底したコスト縮減など見直しを行いながら事業効果の早期発現に努める。

2次評価	地域の魅力向上や生活環境の充実による交流人口の拡大と定住人口の維持のため、継続的、発展的な取り組みを行うことが必要である。広域的な視点でそれぞれの地域の将来像を描いて、土地利用のあり方や、道路、公園などの整備方針、自然的環境の保全など、計画的に取り組みを推進していくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	202010107	今里地区埋立地整備事業	建築課	4,305千円	(事後) 平成25年度で事業完了
2	202010201	有川地区都市再生整備計画事業	建築課	45,500千円	(途中) 事業内容を見直して継続
3	202010401	街なみ環境整備事業	建築課	12,722千円	(途中) このまま事業を継続
4	202010402	新上五島町老朽危険空き家除却費補助事業	建築課	-	(途中) 事業内容を見直して継続
5	202010403	新上五島町耐震・安心住まいづくり支援事業	建築課	30千円	(途中) 事業内容を見直して継続
6	202010601	分譲地売払い促進事業	財産管理課	-	(途中) 事業内容を見直して継続
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				62,557千円	